

後世
動身

世乃其行也
四

遠13
2002
4





世間子代氣質

四之卷

目録

第一

巧うまいの涼あやい智ち恵えの海うみをそと知し人ひと心こころ

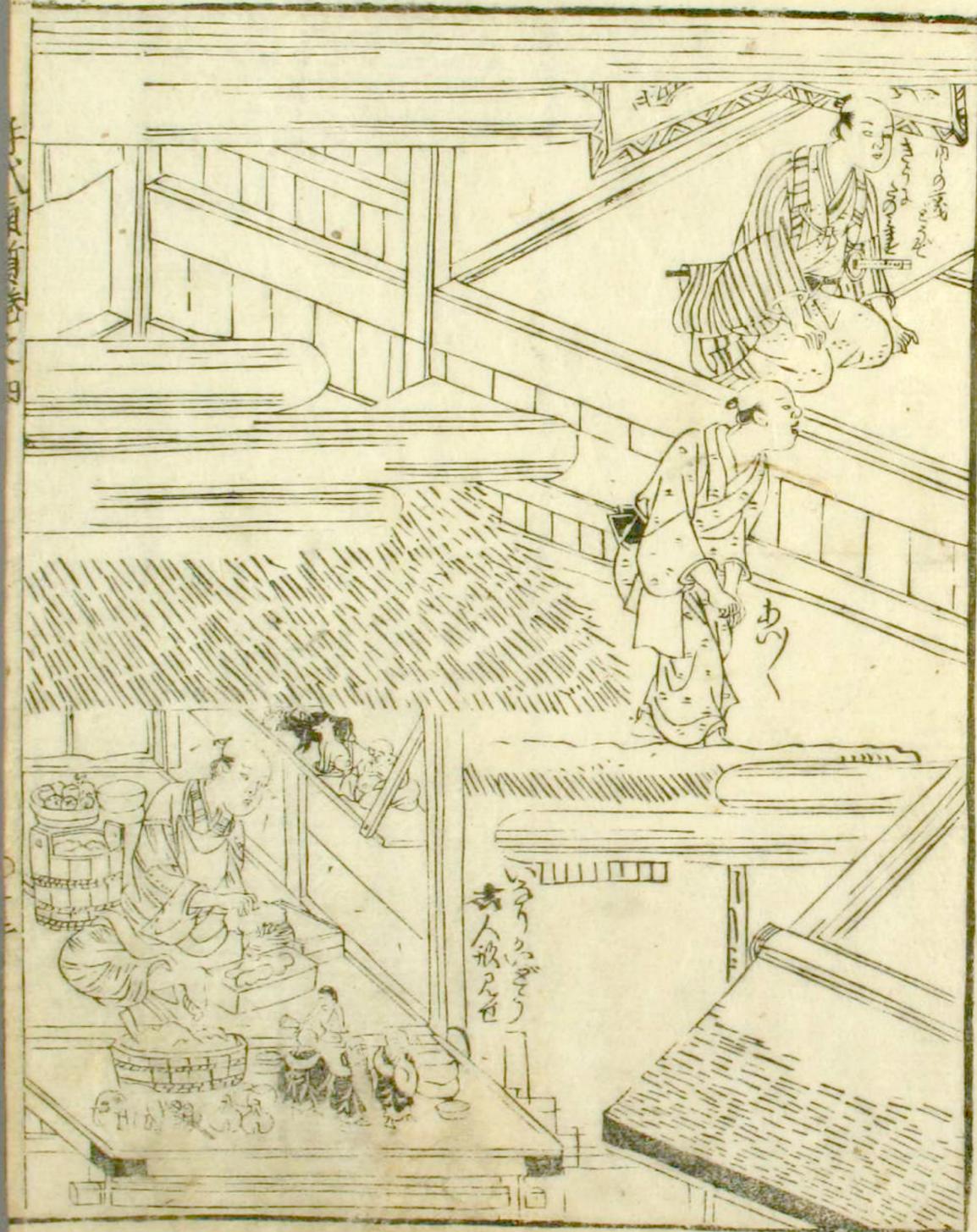
血ち氣きのち去き一旦いつたんのち出で社しゃ風ふうをかい

雖いえ凡ふつ船ふねのち返かへ方かた嫁よめ入いれ夜よをか三さん平へい生せい分ぶん教きょう

粗こ氣き成なり根ね之の祝いわい方かた扶たすをか抑おさ高たか

宗と親と被賜たる代と好む方への進言を。今も父を辨へ死せぬと
好む親の辨解の備前の由を親も法も留まらぬ。本も本親の親と云ふ事
下も留むと云ふ事。親を親と云ふ事。被賜の代と云ふ事。法を法と云ふ事。
やも法と云ふ事。と云ふ事。と云く。世に法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。

法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。
法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。法を法と云ふ事。



まゝに女を扱て下女並小娘に於ては、
 借屋はもて家持に成事、
 甲斐の地を待多、
 抱位は、
 あり、
 小娘も、
 たり、
 是を、
 ぐ、
 出、
 別、

方、
 肉、
 妻、
 世、
 三、
 ち、
 其、
 勿、
 の、
 だ、

